

一般質問(2)

太鼓判を押して下さい市長
放射能汚染はないと!

小峰 和美(みんな)

各地で放射能汚染が懸念されている。風評被害がおさまらない中、西東京市において土壤中の放射性物質を測定し、率先して安全であることを公表すべきではないか。

答弁 土壌中の放射性物質に関する国の基準は現在示されていない。現在は、都の測定基準に沿った対応を行っている。

意見 市長みずからが率先して検査を行い、データを公表して西東京市の土壌は大丈夫だと、いち早く太鼓判を押すような、市長になって下さいよ。

質問 地場産農産物の放射能汚染に対する風評被害対策は、

介護保険利用料の低所得者負担軽減の実施を求める

安斉 慎一郎(共産)

質問 介護保険料の低所得者への負担軽減を高く評価する。利用料の負担軽減策の検討の進捗状況を伺う。

市長 居宅における介護サービスのうち、要介護度が上がるにつれて利用割合が高くなる訪問看護は、重度の要介護者が居宅生活を営む上でのかぎとなる。そのため市独自の制度として、訪問看護サービスの利用料軽減を導きたい。

質問 保育は公設公営が基本と考える。民営化を進める場合でも、保育条件の確保と保護者の理解と納得は不可欠である。ほうやちよう保育園の民営化が決まらなかったが、その経過を問う。

市長 平成22年度は事業者の応募がなく、平成23年度は、応募はあったものの事業者が辞退した。

質問 事業者が決まらなかった場合の保育体制は、

部長 市で運営することになるので、現状の職員体制で運営する。

質問 全小中学校の校庭とプール、全認可保育園の園庭、18カ所の公園・児童広場、全児童センター・児童館・学童クラブの館庭で、放射線量測定を1回行い、公表している。継続して測定していく考えはないか。

市長 市民の要望や職員体制を考慮しながら検討する。



保育園の園庭で遊ぶ子どもたち

公民館のあり方の見直し・検討は
市民・利用者の意向を受けとめて

藤岡 智明(共産)

公共施設の適正配置等に関する基本計画(素案)で公民館のあり方と受益者負担のあり方の見直し検討とあるが、基本的考え方は、

施設貸出という面で市民交流施設と類似している点、旧両市の施設保有量

大震災を受け防災計画の見直しを
保育は公的責任で 庁舎統合問題

倉根 康雄(共産)

東日本大震災を経験した今、立川断層地震、東海・東南海・南海の3連動地震も想定し、長周期地震動、原子力災害、大停電、

帰宅困難者対策など、市民の命を守り抜く立場から防

災計画を見直すべきだ。

答弁 東京都の被害想定等の修正に沿って手続する。

質問 7月に実施した家具転倒防止器具の配布は市民に歓迎された。高齢者・障害者を対象にするなど事業を継続せよ。

答弁 予算に余裕があるので今年度中にもう一度市民に支給したい。来年度以降については検討する。

質問 市は待機児対策を図ってきたが、待機児数は前年比15人増となった。今後の対策は、

答弁 来年度私立認可保育園が新設・増設される予定である。

意見 公設公営保育園の新

障がい者の地域生活支援の拠点、
障害者総合支援センターの充実を

保谷 清子(共産)

障害者総合支援センターが、障がい者の地域生活の拠点として5月にオープンした。利用者のさまざまな意見を反映する機会を、今年度内に利用者アンケートをはじめとしたモニタリング方法を検討し

乳幼児期の子育て困難家庭への支援充実が求められている。支援の現状と連携体制について問う。

各々の健康診において子育てにリスクのある家庭の把握に努めている。連携

公共施設の適正配置等に関する基本計画(素案)では、本庁舎を平成35年までに統合し、中央図書館・田無公民館・市民会館との合築・複合化を検討するとある。中央図書館・田無公民館・市民会館の耐震化は急務であり、方針を早期に示すべきと考える。

3施設について検討後、庁舎の検討を行う。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうするのか。

市長はこれまでも、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうするのか。

土壌は国から基準値が示されていない中、都の測定基準に従い、地上5cmで空間線量を測り地上の放射線量を評価している。まだ土壌検査が必要な段階には至っていない。流通している食品はすべて暫定基準値を下回っている。ホットスポットはないものと認識している。

「公共施設の適正配置等に関する基本計画」には、新町福祉会館の中心部への移転の検討、富士町福祉会館と保谷障害者福祉センターの合築の検討が計画されている。利用者や地域住民の意見・要望を十分聞き検討すべきだ。

利用者・周辺住民への丁寧な情報提供を心がけ、要望を伺いながら具体化を図っていく。

柳橋市民集会所廃止後の跡地について

柳橋集会所は、地域住民が長い間利用し愛着を持つ施設であることを踏まえ、廃止後の取り扱いについては丁寧な対応を望む。



総合防災訓練の様子

市民、利用者の意向を受けとめる丁寧な対応を行うべきだ。

次期介護保険料は、国試算で月額約千円増だが、本市の試算額と軽減策は、

月額5千200円〜5千300円程度(現行3千958円)になる見込み。軽減策は現在の12所得区分を13区分へ細分化の方向だ。

保育園面積基準緩和

待機児童解消の反面、保育環境低下も懸念される。都の詳細な情報提供を受ける中で、慎重に検討する。

障害者施設「一步」の跡地利用として、福祉作業所の早期設置を求める。

今年度内のできるだけ早い段階で方針を決定し、必要な手続に入りたい。

待機児童解消の反面、保育環境低下も懸念される。都の詳細な情報提供を受ける中で、慎重に検討する。

障害者施設「一步」の跡地利用として、福祉作業所の早期設置を求める。

今年度内のできるだけ早い段階で方針を決定し、必要な手続に入りたい。

待機児童解消の反面、保育環境低下も懸念される。都の詳細な情報提供を受ける中で、慎重に検討する。

障害者施設「一步」の跡地利用として、福祉作業所の早期設置を求める。

今年度内のできるだけ早い段階で方針を決定し、必要な手続に入りたい。

待機児童解消の反面、保育環境低下も懸念される。都の詳細な情報提供を受ける中で、慎重に検討する。

障害者施設「一步」の跡地利用として、福祉作業所の早期設置を求める。

今年度内のできるだけ早い段階で方針を決定し、必要な手続に入りたい。

待機児童解消の反面、保育環境低下も懸念される。都の詳細な情報提供を受ける中で、慎重に検討する。

障害者施設「一步」の跡地利用として、福祉作業所の早期設置を求める。

ホットスポットや土壌、
食品の放射線量を測れ!

森 てるお(無所属)

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうするのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。

市長はこれまで、放射線量を測れとの私の質問に「測らない」との答弁を繰り返してきた。しかしその後、測定とその対象の拡大が行われている。それは評価したい。今後の土壌や食品、ホットスポットの測定はどうなのか。



障害者就労支援センター「一步」の窓口